

令和7年度 札幌駅前通地下広場事業報告書

1 管理業務の実施状況

(1) 管理業務全体について

令和7年度札幌駅前通地下広場業務計画書に基づき、札幌駅前通地下広場の管理業務を実施しました。

札幌駅前通地下歩行空間は、札幌の玄関口である「札幌駅」と、古くからの商業地である「大通」をつなぎ、さらに、北日本最大の歓楽街である「すすきの」まで接続することで、各地区間の回遊性を高めるとともに、通路の両側および交差点下に広場空間（以下「広場」）を設け、新たな札幌の魅力を発信する重要な空間となっています。札幌市の所管各部局の協力を得て、前回の指定管理期間の利用実績も踏まえ、単なる地下通路とならないために、制約がありながらも利用者にとって利用しやすい仕組みをつくり、にぎわいをつくるように心がけ、安定した管理業務を実施しました。

(2) 令和7年度の事業目標として掲げた5項目について

広場は、施設のコンセプトを設け、重要性に鑑み、指定管理者として施設の効用を発揮するようなイベント、効果的PRを行うとともに、「公の施設」という性質から、その利用が営利目的に偏らないような空間を目指して業務を実施しました。

各事業目標	実施状況
①「札幌の顔」となる空間としての価値創造（ブランディング）の推進とにぎわいの創出 ○札幌・北海道の魅力発信 ○札幌独自の都市文化の創造	札幌のみならず北海道各地のイベント案内や、観光PRのために観光振興・集客交流・企業活動の活性化を目指しました。
②様々なひと・もの・ことが主役となれる場の提供 ○市民活動の促進 ○人に優しいホスピタリティ空間の創出 ○調査・研究・フィールドワーク等の場としての活用	休憩スペースや植栽を設置するなど、人に優しい空間演出を行いました。営利企業だけでなく、市民活動を含めた幅広い団体への貸出を行いました。また、自主事業として案内所を設置しました。
③安心・安全な広場運営 ○平常時の安心・安全な運営 ○災害時等の円滑な運営	多くの方々が通行する通路部分とイベント利用・滞留可能な広場部分が共存した空間のため、通行者に配慮するとともに、広場利用者が安全にイベントを行うことができるようなルールの実運用に努めました。

④札幌駅前通地下広場を起点とした新たなまちづくりのシステム構築 ○エリアマネジメントの推進 ○活発な自主事業・地域活性化活動の実施	自主事業のサッポロ・パラレル・ミュージアムでは、当施設のほか札幌駅前通地区の商業施設等を活用したアートイベントを実施。アートを通じたまちの回遊性を高める取組となりました。
⑤効率的な管理運営の推進のために ○効率的・効果的な事業運営による収入増と経費削減	札幌市の条例および規則を遵守し、申請手続から接客、事務処理に至るまで、公平な利用環境の提供と透明性の確保に努めました。限られた人員体制の中でも効率的な業務執行を可能とするため、状況に応じた最適な人員配置の変更を適宜実施。社員一同が創意工夫を重ねることで、業務効率化と経費の縮減を両立いたしました。また、「利用者に不便をかけない迅速な対応」を運営の基本方針に掲げ、日々円滑な施設運営を行ってまいりました。

(3) 平等利用の確保に向けた考え方と取組

札幌市が定めた条例・規則に則り、申請手続きや接客、事務処理等において、平等利用及び透明性の確保に努めました。また市民にとってより身近な親しまれる施設になるような対応に努めました。

■実施した取組

- ・幅広い情報媒体を使つてのプロモーション活動や遠方の方でも利用しやすい仕組みとするため、インターネット、電話等での簡便な申請手続きを確立し、利用機会の増進を図りました。
- ・社員には各種研修を受講させ、ホスピタリティのある接客や、素早い事務処理などの能力を身に付けることに努めました。
- ・利用者の属性や団体の目的などにより、不当な差別的取扱いが生じないよう心がけました。
- ・記録・モニタリング・報告・評価について適切に対応しました。
- ・オンライン利用説明会を随時開催し、「広場」をはじめて利用する方に向けた利用案内を行い、利用者の利便性向上に努めました。

2 統括管理業務の実施状況

(1) 業務計画全体について

業務計画書に記載した基本方針に基づき、計画どおりの人員体制と勤務体制で実施しました。

ア 責任者の配置、組織の整備

■ 基本方針

地元に根付き地域関係者と密に連携しながら業務を行うことを重視した、柔軟かつ機動的な組織とし、以下の体制での運営を行いました。

管理運営業務の統括責任者を統括マネージャー、統括責任者の職務代理者を営業・管理グループ長とし、自主事業の実施等に関わる責任者を統括マネージャーとして、計 10 名の職員で業務を行いました。

職務分掌や、決裁に関しては当社処務規定に基づき、業務が滞ることなく円滑に行えるような組織体制を整備し、緊急時には、スタッフから各部門責任者・統括責任者までの連絡体制を整えることで、迅速な対応を心がけました。

■ 緊急時の対応

供用時間外にも必要な連絡体制を整えるとともに、担当社員が、現場対応できる体制を整えました。

イ 従事者の確保、配置

職員配置計画・職員採用計画

指定管理者として適切な業務運営を実施するために、統括マネージャー 1 名を責任者に、担当職員を 10 名配置し、業務を行いました。

ウ 労働関係法令の遵守、雇用環境の維持向上

施設の供用時間が午前 6 時 00 分～翌日午前 0 時 30 分と早朝・深夜に及ぶこと、イベントの開催や設営・撤去等で不規則な勤務時間や土日祝日勤務の必要があることから、社員においてはシフト勤務制を適用し、業務の実行に支障のないよう、効率的かつ柔軟な勤務形態としました。

なお勤務条件等については、労働基準法及び当社就業規則等を遵守し、社員それぞれの希望に応じて、「仕事」と子育て地域活動等の「OFF の時間」の調和がはかれる状態を配慮しました。育児や介護をしながらでも安心して就業できる環境整備を行うことが重要であるという認識のもと、子育て世代への支援手当の支給や、法令上は無給でも差し支えない看護休暇の有給休暇化、育児・介護を行っている社員に対する就業時間の弾力的運用など、様々な施策を実施しました。新型コロナウイルスを契機に制度が始まった在宅勤務・リモートワークは現在も継続しており、セキュリティに十分配慮した上で、それぞれにあった働き方で最大の効果を発揮できるよう環境を整えました。

(2) 管理水準の維持向上に向けた取組

限られた人員体制で効率的な管理運営を実施するため、以下の取組を実施しました。

① スタッフミーティング

2 週に 1 度、スタッフミーティングを実施し、業務の進捗、問題点の相談、フィードバック

などについて確認や意見交換を行いました。また必要に応じて臨時ミーティングを開き、情報共有に努めました。3 か月に 1 度、役員を含めた全体会議を実施し、情報共有や意見交換を行いました。

② 引継ぎの徹底

業務の情報共有や利用者などからのトラブル防止を目的に、シフト交替時には、業務の引継ぎを十分に行いました。

② 業務マニュアルの整備

業務のプロセスを分析し、業務ごとにマニュアルを整備しています。マニュアルの活用により、複数の業務を処理できる人材の育成に努めています。

④ 研修の実施

地下広場の活用クオリティをあげるための専門性の向上させるため、研修・意見交換会に参加しました。**(資料 1 研修結果報告)**

(3) 第三者に対する委託

広場は、一日におよそ 9 万人の人流がある地下歩道の一部に設置される公の施設です。したがって、広場の利用者はもちろん、歩行者に対する十分な配慮が求められます。

そこで、両者に対して、快適かつ魅力ある空間を提供していくため、高水準の技術やサービス・ノウハウを有する事業者には、一部の業務を委託しました。委託業者には月次報告書、完了報告書を提出してもらい、履行確認を行いました。

委託業者は、以下のとおりです。

業務内容	契約日	委託業者	契約額 (消費税等込)	履行完了日	弊社 担当
施設の清掃業務	令和 7 年 4 月 1 日	日興美装興業 (株)	11,761,200 円 (指名競争入札)	令和 8 年 3 月 31 日	経営
常置場管理業務	令和 7 年 4 月 1 日	日興美装興業 (株)	3,603,600 円 (随意契約)	令和 8 年 3 月 31 日	経営
巡回点検業務	令和 7 年 4 月 1 日	(株) キタデン	4,213,440 円 (随意契約)	令和 8 年 3 月 31 日	経営
大型映像設備の 保守管理業務	令和 7 年 4 月 1 日	(株) テクノラボ	2,329,800 円 (随意契約)	令和 8 年 3 月 31 日	経営
大型映像装置の 運営業務	令和 7 年 4 月 1 日	札幌テレビ放送 (株)	9,900,000 円 (プロポーザル)	令和 8 年 3 月 31 日	経営
映像広告に関する 広告代理業務	令和 7 年 4 月 1 日	(株) NKB 北海道支社 (株) えんれいしや	0 円	令和 8 年 3 月 31 日	経営

		(株)オリコム札幌支社 (株)近宣札幌支店 (株)電通北海道 (株)道新サービルセンター 表示灯 (株)札幌支店 (株)北海道博報堂 (株)ノヴェロ (株)東急エージェンシー北海道支社			
チ・カ・ホ ウェブサイトの改修業務	令和7年 4月1日 9月1日 12月1日	(株)ケージェイプロダクション	合計 353,408 円 (随意契約)	令和8年 3月31日	営業
チ・カ・ホ ウェブサイトのセキュリティ強化	令和7年 4月4日	(株)ケージェイプロダクション	171,600 円 (随意契約)	令和7年 4月8日	営業
「札幌駅前通地下広場予約システム」改修業務	令和7年 6月9日	システムバンク(株)	3,300,000 円 (随意契約)	令和7年 8月31日	営業
デジタルサイネージ修理業務	令和8年 3月1日	(株)テクノラボ	564,520 円 (随意契約)	令和8年 3月31日	営業

(4) 札幌市及び関係機関との連絡調整

管理運営水準及びサービスの維持向上を図るため、札幌市や関係機関との協議の場を設置し、必要に応じて連絡調整を行いました。

■ 札幌駅前通地下広場運営協議会（以下「運営協議会」という。）の実施

① 運営協議会の開催

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容	
運営協議会	5/28	・ 令和6年度の稼働状況 ・ 令和7年度の上期稼働状況 ・ その他
運営協議会	8/21	・ 広場利用状況 ・ アンケートの実施状況

		・その他
運営協議会	11/20	・広場利用状況 ・その他
運営協議会	2/12	・広場利用状況 ・通行人アンケートの実施状況 ・一時滞在施設開設について ・その他

※その他必要に応じて適宜打ち合わせを開催した。

※協議会メンバー：

札幌市都心まちづくり推進室、地域代表者、有識者

札幌駅前通まちづくり株式会社

② 協議内容

- ・指定管理業務の運営状況報告
- ・管理運営に係る各種規程、要綱、マニュアルの作成及び改定
- ・広場の市民サービスや管理運営水準の維持向上に向けた取組など
- ・その他協議会での協議を必要とするもの

③ 記録及び周知

運営協議会の内容は記録し、要旨を作成して、札幌市に報告しました。

■ 関係機関との連絡調整

当施設は、道路空間の一部に設置される公の施設であるとともに、一部国道区間も含まれることから、管理業務の遂行にあたり、市以外の関係行政機関との連絡調整を円滑かつ的確に行いました。

特に、地下歩行空間全体を使用する大規模イベントや混雑が予想されるイベント等については、案件毎に関係機関に事前相談を行い、円滑な実施と通行者の安全確保に努めました。

(5) 苦情対応

広場の利用者や地下歩道の通行者などからの要望や苦情、管理運営やサービスの水準を高める好機と捉え、迅速かつ適切に対処しました。今期はこうした要望等を踏まえ、より適切な利用が行われるように利用規約の見直しを行いました。

・方法

要望・苦情対応についてはマニュアルを作成し、全社員に周知しており、3日以内に返答するようにしています。また電話によるものについては、受けた者が社内共有ツールに回答内容も含めて記入し、全社員で情報共有しました。要望や苦情については、月次報告書提出時に一

覧にした上で広場管理者に報告し、札幌市関係部局にスムーズに引き継ぎました。地下広場以外のお問い合わせの際は、札幌市の各所の連絡先をご案内しました。

(6) 記録・モニタリング・報告・評価

当社は、管理運営の水準及びサービスの維持向上を図るための手段として、記録・モニタリング・報告・評価について、誠実かつ適切に対応するとともに、管理運営に関する情報を適時適切に開示し、信頼性・透明性の確保に努めました。

これらの実施にあたっては、管理運営に関する課題や問題点を早期に発見して、継続的に改善を図る仕組みを構築していきました。

- ・今年度実施したモニタリング（資料2 札幌駅前通地下広場アンケート集計）
- ・札幌駅前通地下広場利用者アンケート
- ・通行人アンケート

3 施設・設備等の維持管理に関する業務の実施内容

(1) 業務計画全体について

業務計画書に記載した基本方針に基づき、計画どおり実施しました。また、適切な施設賠償保険（指定管理業務プラン）に入りました。

(2) 具体的な維持管理業務

■ 清掃業務

日常清掃、定期清掃、塵芥処理とも、日興美装工業株式会社に委託して実施しました。利用者が安全かつ快適に利用してもらえる環境を整えるとともに、収集及び回収した塵芥は、廃棄物処理に関する関係法令に基づき、適切な処理を行いました。また、収集場所においては、分別を徹底し、衛生的な環境を保つように心がけました。貸出備品等の清掃もこまめに行い、清潔を心掛けました。

■ 設備の保守点検業務（大型映像設備の運営及び保守）

① 大型映像設備保守業務

広告、行政情報、イベント等の映像を、適時に最良な状態で発信するため、株式会社テクノラボに委託し、設備の日常点検、各機器の設定等の確認を適切に実施しました。不具合が生じた場合は札幌市に報告しました。また、映像モニターの汚れ除去や輝度調整についても、定期的に点検しました。

② ピクチャーレール、ライティングレール、活用コンセント

利用者の安全確保を第一に考え、設備の劣化や損傷がないか、巡回して点検しました。

■ 修繕（資料3-1 修繕記録）

利用者の安全を確保し、設備の機能を良好に維持するため、破損、故障等が発生した場合は、

速やかに原因を究明し、必要な対応を行い、その結果は、遅滞なく札幌市に報告しました。

■ 備品管理 （資料 3-2 備品点検表）

備品の管理については、備品台帳を作成し、適切な場所に保管しました。また、利用者からの返却時には、個数及び状態等の確認を確実にするとともに、月に 1 度備品点検日を設け、入念にチェックしました。

(3) 防災業務計画 （資料 4 防災研修記録）

火災、震災その他の災害発生時に即応できるよう、防災・安全管理体制を確立し、災害時における被害軽減及び人命の安全確保を図ることを目的として、防災研修を行いました。また「札幌駅前通地区防災協議会」では、10 月に図上訓練を行い、要確認事項を洗い出し、今後の取組改善に繋げるため、マニュアルを見直しました。11 月には一時滞在施設開設等の手順を検証する実施訓練を行い、災害時帰宅困難者等の支援スペース設置や災害発生時における携帯電話充電機器及び無料 Wi-Fi 設備の設置訓練を行いました。

札幌駅前通地下歩行空間防災センターと接続ビル 12 か所の防災センターを繋ぐ「防災情報伝達システム」の操作方法習熟と機器不具合を早期に発見、修理することを目的に、定期訓練を行いました。また、日々の巡回の中で避難口・消火器等の位置などを確認しました。

令和 8 年 1 月の雪害による帰宅困難者の発生に伴い、広場管理者と連携し、一時滞在施設を開設しました。

4 大型映像装置を活用した情報発信及び必要なコンテンツ等の収集に関する業務

設備を活用した情報発信及び必要なコンテンツ等の収集に関する取組を実施しました。

広場の設置目的である、にぎわいの創出の実現に向け、大型映像設備の一般利用及びイベント実施時利用を除く時間において、情報発信を実施計画に基づき積極的に行いました。

（資料 5 大型映像装置稼働割合）

5 施設の利用等に関する業務

(1) 交差点広場等貸出計画について （資料 6 利用状況報告書）

業務計画に基づき、業務を実施しました。

(2) 利用促進計画について

広場の活用促進がにぎわいを創出し都心の回遊性を高めるとの認識のもと、貸し出しサービスの向上や市民に喜ばれるアート企画の実施など、職員一同総力を挙げて努力して参りました。

令和 7 年度は、地下広場の貸出度合を示す主要貸出場所の年間稼働率は約 88%となり、多くの方にご利用いただきました。

広場の活用コンセプトに基づく利用を促進するために、ホームページの内容については随時見直し、利用者に分かりやすい情報発信を行いました。ホームページの 1 日あたりの平均閲覧数は 52,621 件（令和 6 年度は 42,139 件）となりました。また、利用者のイベント情報を発信

するため、利用者が直接スケジュールを投稿できる仕組みを構築しており、地下歩行空間の大型映像装置と連動することで、様々なイベントスケジュールを掲載することができました。また、自身で投稿が難しい利用者については代理で入力するサービスを行いました。今後もホームページからの本申請受付を増やすことで、様々なイベント情報を通行者にも届けていきたいと考えております。なお、ホームページ運用にあたっては、札幌市公式ホームページガイドラインを参考に運用したほか、ウェブアクセシビリティについては、JISX8341-3:2016の適合レベルに準拠しました。

その他、遠方の方や初めて利用される方に向けたオンライン利用説明会を随時実施し、実際の利用予約につながる機会も増やしています。こうした説明会を通じ、引き続き利用促進につなげていきたいと考えています。

6 管理業務に関する収支決算書（資料7 指定管理業務決算報告書）

(1) 収益・費用について

利用料金収入は昨年よりも増加し、年度当初予算額を達成することができました（予算達成率110.3% 2024年度比104.5%）。今年度は備品の修繕・更新が多くなったことから、費用はかさみましたが、適切に処理を行いました。

引き続き会社経費の節減、利用者へのサービス低下を招かない範囲での業務効率の向上などに努めていきたいと考えています。またこれまで以上に、安心・安全に使用できることや活用コンセプトを発信し、広場の存在を広くPRするなどして、利用者の拡大を図りたいと考えています。

(2) 利益還元について

協定書に基づき、地下広場の備品等の修理を実施しました。また、利益還元の一環として、貸出備品を更新しました（金額：8,009千円）。

7 会社の経営状況（資料8 決算報告書）

今期の事業収益は、売上高が324,463千円（対前期比100.8%）、営業利益は13,373千円（対前年比36.7%）、経常利益は18,217千円（対前期比43.4%）、当期純利益は12,604千円（対前期比44.0%）となりました。

8 自主事業の実施について（資料9 自主事業の実施状況、資料10 自主事業決算報告書）

多様なにぎわいを創出し、多くの市民の方々に楽しんでいただけるとともに、広場および札幌駅前通地区が活性化につながるよう事業を進めました。また、にぎわい創出事業のほか、広場利用者の利便性を考えた備品貸出事業、案内所設置、市民活動促進のためのパンフレットコーナー設置事業等も継続して実施しました。

9 環境配慮への取組について（資料 11 環境配慮への取組結果）

業務計画書に記載した基本方針に基づき、実施しました。

資料 1 研修結果報告

札幌駅前通地下広場の活用クオリティをあげるための専門性の向上させるため、研修・意見交換会に参加しました。

○広場の活用クオリティをあげるための専門性の向上

■第 13 回 全国まちなか広場研究会 in 神戸

日時：令和 8 年 1 月 23 日（金）・24 日（土）

主催：全国まちなか広場研究会

場所：神戸市

内容：全国まちなか広場研究会は、全国の広場や交通施策などに関わる人たちが交流し、見聞を広め、自己研さんすることを目的に毎年 1 回、各都市の持ち回りで開いている。開催都市神戸のまちづくりの動向を学んだほか、都市機能として定着しつつあるまちなか広場について様々なテーマで活発な議論が行われた。

○エリアマネジメントに関する専門性の向上

■全国エリアマネジメントネットワーク視察・研修会

日時：令和 7 年 6 月 12 日（木）～13 日（金）

主催：全国エリアマネジメントネットワーク

場所：長崎市 長崎駅周辺エリア

内容：地方都市を中心に、普段交流が取りづらいエリアを訪問し、まちづくりの取組の視察や意見交換を行いながらお互いで学び合いをする研修プログラム。（協力：長崎駅周辺まちづくり推進協議会博多まちづくり推進協議会）

○施設・組織運営のための実務能力の向上

■普通救命講習

日時：令和 7 年 5 月 22 日（金）

主催：総務省消防庁

受講形式：オンライン

内容：応急手当に関する正しい知識と技術向上のため、胸骨圧迫と AED の使用法を中心とした救命処置、異物除去、止血法を学ぶ。

■防火・防災管理講習

日時：令和 7 年 7 月 15 日（火）、16 日（水）

主催：一般社団法人防火・防災管理

場所：札幌市消防局 白石消防署

内容：防火・防災管理に関する知識を学び、火災による被害の防止・軽減と地震等の火災以外の災害による被害の知見を広げる。

■町内会連合会防災研修

日時：令和 7 年 11 月 5 日（水）

主催：中央地区町内会連合会

場所：札幌グランドホテル

内容：災害関連死を防ぐため、災害時におけるトイレと衛生対策について学ぶ。

■札幌駅地下街総合共同防火・防災管理協議会 実務者研修

日時：令和7年10月30日（木）

主催：札幌駅地下街総合共同防火・防災管理協議会

場所：新千歳空港

内容：新千歳空港の最新施設や運営体制を学ぶとともに、民間主導による空港経営の実践例を通じて、地域振興や防災対策などを学び、空港の未来像や運営上の課題や工夫を学ぶ。

■大丸有エリア防災シンポジウム2026（第4回）

日時：令和8年2月26日（木）

主催：一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

受講形式：オンライン

内容：都心型要配慮者が“取り残されない”エリア防災を学ぶ。
～包摂性×クオリティの高い安心×国際競争力～

■個人情報に関する研修

日時：令和8年2月

受講形式：オンライン動画 <https://www.gov-online.go.jp/article/201703/entry-7660.html>

内容：個人情報保護法の概要について学び、用語解説から個人情報取扱事業者が個人情報を取り扱う際の義務までの内容を学ぶ。

■環境マネジメントに関する研修

日時：令和8年2月

受講形式：札幌市の環境配慮取組のレポートを確認した。

内容：環境に与える影響を十分に考慮し、省エネルギー及び省資源化の推進による温室効果ガスの排出抑制、その他環境への負荷低減に努めることにより環境への配慮に十分留意した管理運営業務を学ぶ。

○その他

■コクヨのセミナー「コミュニケーションを高めるオフィス作り」

日時：令和7年5月22日（木）

主催：コクヨ北海道販売株式会社

場所：EZOHUB SAPPORO（エゾハブサッポロ）

内容：コミュニケーションを促進するためのオフィス空間の工夫や、フリーアドレスなどオフィスの運用方法について学ぶ。

■#SAPPORO DIVERSITY FORUM 絶望から希望の大地へ～ジェンダー課題解決の鍵は企業にある～

日時：令和7年9月11日（木）

主催：札幌市市民文化局男女共同参画室男女共同参画課

場所：ACU～Lounge A

内容：女性活躍推進やダイバーシティ経営の本質を、識者や先進企業の取り組みから学ぶ。

■儲かるデザイン講座～札幌を元気にするデザイン

日時：令和7年12月11日（木）

主催：札幌商工会議所

場所：北海道経済センター 8階

内容：デザインを経営に活かす事例や、デザインに関わる権利を学ぶ講座。

■すぐにできる！だれでもできる！カスハラ防止のための接遇マナー

日時：令和8年2月19日（木）

主催：札幌市働き方改革・人材確保サポートセンター

場所：札幌サンプラザ 4階

内容：カスタマーハラスメントから従業員・会社を守る対応について学ぶ。

資料2 チ・カ・ホ アンケート集計

■ 利用者アンケート（夏季・冬季）/通行人アンケート

目的：①地下広場をご利用頂いた利用者の満足度や意見、要望を測り今後の地下広場の利便性向上と、お客様への接遇サービスの向上を目的として実施した。
②チ・カ・ホを通行する方からも客観的な意見をいただき、全体的なバランスと調和を測ることを目的として実施した。

実施：①令和7年7月（夏季）・令和8年1月（冬季）【利用者アンケート】
②令和8年1月【通行人アンケート】

配布・回収方法：①毎日の地下巡回時に利用者に WEB アンケート用二次元バーコードが記載された用紙を渡し、期日までに回答をお願いした。ネット環境がない方にはこれまで通りアンケート用紙を手渡し、イベント終了後に回収した。
※各利用団体に1枚配布。
②チ・カ・ホ北3条交差点広場（東）にアンケート回収BOXを設置。自由に記載し、投函してもらうこととした。

回収件数：①7月：47件/116件、1月：40件/100件 回答率40.3%
②12月：22件

主な結果：
【①利用者アンケート】

アンケート回答者の属性	夏季の調査では、男性が50%、女性が43%の割合だった。年齢層は10代を除く幅広い層から回答を得ており、最も割合が高かったのは40代（28%）、次いで70代（15%）となっている。参加形態（個人・企業・団体）はそれぞれ約3分の1ずつの均等であり、市内からの参加者が79%を占めた。また、職業別では会社員と自営業がそれぞれ約30%、その他が28%という結果だった。 一方、冬季の調査では、男性65%、女性35%と男性の比率が高くなっている。年齢層は40代、50代の割合が増加し、70代の割合が減少している。参加形態は企業が53%と過半数を占め、個人が29%、団体が20%となり、市内からの参加者は93%に上った。職業別では、会社員が48%、自営業が35%、その他が13%を占めた。 接遇に関する満足度はとても良い46.7%、良い29.5%、普通15.6%、悪い5.7%、とても悪い2.5%。総数87件のうち、とても良い、まあ良い、普通が80件で合計91.9%となった。また総合満足度においては、満足46.1%、やや満足35.4%、普通13.9%、やや不満4.6%、不満0。総数87件のうち、満足40件、やや満足31件、普通12件で合計95.4%という結果になった。
-------------	--

利用者からの意見・要望とその対応	1. チ・カ・ホの利便性と交流の創出について ・イベントを目的としていない通行者が立ち寄ってくれて、そこで会話が生まれ新たなつながりができることに魅力を感じる点。チ・カ・ホの利便性や知名度の高さからお客様にもイベントの開催案内をしやすいという点が評価されている。 2. 冬期間の寒さおよび通気口からの寒風への対策 ・冬期間は寒いが暖をとれない、通気口があるため寒いという意見があったが、通気口下にいる出店者には「上から寒い風が出るのでその時は左右に寄り寒さを避けてください」とお声がけをした他、防災センターの設備に吹き出し口の風向きを変えてもらうなどの対応を実施した。 3. 会場照明の明るさ(薄暗いイメージの払拭) ・会場照明が暗いという意見については、補助ライトを導入して対応した。チ・カ・ホ照明のLED化工事が進んでおり、場所によっては暗い部分を解消できた箇所もある。今後も関係機関と協議し改善に努めたい。
------------------	--

【②通行人アンケート】

アンケート回答者の属性	回答数：22（内訳 男性：12人、女性：6人、未回答：4人） 年代：10代：7人、20代：2人、30代：3人、40代：2人、50代：1人、60代以上：3人、未回答：4人 居住地：札幌市内：7人、道内：6人、道外4人 その他：1人 未回答：4人
結果概要	▽施設に対する要望やイベントに関する意見が多かった。
利用者からの意見・要望とその対応	・トイレの汚れが目立つのでマナーを守るようにしてほしいという意見があり、関係部署に共有した。 ・歩きスマホが危ない。外国人の子どもが急に走り出し危ないのでマナーの呼びかけをもっとしてほしいという声が寄せられたので、関係部署に共有した。

以上

札幌駅前通地下広場 利用者アンケート

この度は、地下広場をご利用いただきありがとうございました。今後より一層の賑わいを創出するための参考にさせていただきますので、アンケートにご協力をお願いいたします。なお、いただいた情報はその他の目的に使用することはありません。

Q 1. 利用されたご自身やグループについてお聞かせください。※グループの場合は代表者の方にお聞きします。

【性別】 ① 男 ② 女 / 年齢 () 歳

【職業】 ① 会社員 ② 自営業 ③ 公務員 ④ 学生 ⑤ その他 ()

【お住まい】 ① 札幌市内 ② 札幌市外 ()

【参加形態】 ① 個人 ② 企業 ③ 団体 ④ 学校 ⑤ その他 ()

【参加人数】 () 人

Q 2. ご利用内容についてお聞かせください。

【利用日数】 () 日間

【利用場所】 ① 北 3 条交差点広場 [東・西] ② 北大通交差点広場 [東・西] ③ 憩いの空間 [桝]
④ 北 1 条イベントスペース [東・西] ⑤ その他 ()

【利用目的】 ① 物販 ② PR ③ 展示 ④ イベント ⑤ 市民活動 ⑥ その他 ()

【利用回数】 ① 初めて ② () 回目

Q 3. 利用のきっかけは何ですか。

① 知人の紹介 ② 市・区役所の掲示 ③ ホームページ ④ テレビ・新聞 ⑤ その他 ()

Q 4. 利用料金は適切ですか。 ① 非常に高い ② やや高い ③ ちょうど良い ④ やや安い ⑤ 非常に安い

Q 5. 貸出備品の種類や料金を満足していますか。 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満
理由もお聞かせください ()

Q 6. 施設・設備は良好ですか。 ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

Q 7. 職員の対応は良好ですか。 ① とても良い ② 良い ③ 普通 ④ 悪い ⑤ とても悪い

Q 8. 地下広場を利用した総合満足度をお聞かせください。① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満
理由もお聞かせください ()

Q 9. また利用したいと思いますか。

① 利用したい ② 機会があれば利用したい ③ わからない ④ 利用したいとは思わない ⑤ 利用しない
理由もお聞かせください ()

Q 10. チ・カ・ホ以外にどんな場所で出展していますか。

Q 11. チ・カ・ホに出展して良かった事がありましたら教えてください。

Q 12. ご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。

資料3-1 令7(2025)年度 備品・施設修繕記録簿

1_備品修繕(指定管理)

	発生日	修繕完了日	支払日	内容	金額(円)
1	-	3月23日	3月31日	パネルセット用台車車輪交換	57,200

合計 57,200

2_施設修繕

	発生日	修繕完了日	支払日	内容	金額(円)
1	7月8日	7月30日	-	北3条交差点広場(西)モニター不具合対応	0
2	10月9日	10月16日	-	北3条交差点広場(西)モニター不具合対応	0
3	-	2月2日	-	北3条交差点広場(西)モニター不具合予防対応	0
3	2月4日	4月2日	4月30日	北3条交差点広場(西)モニター器物損壊対応	564,520
3	-	3月2日	-	北3条交差点広場(西)モニター不具合予防対応	0

合計 564,520

3_備品/備品用消耗品購入(指定管理)

	納品日	物品名	金額(円)
1	6月3日	ワゴン10台	4,775,980
2	1月20日	マイクロホン(SHURE (シュア) / PGA48-LC)	6,780
3	3月23日	パネルセット用パネル50枚、クリップ220個	3,233,120
4			

合計 8,015,880

資料 3-2 備品点検実績表（定期点検）

	点検日	点検者	備考
1	4月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	いずれの備品も経年の汚れ、テープ跡が目立つ（使用に問題なし）
2	5月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	〃
3	6月3日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	〃
4	6月30日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	〃
5	7月27日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	〃
6	9月1日	営業・管理グループ2名・常置場スタッフ1名	〃
7	10月1日	営業・管理グループ2名・常置場スタッフ1名	経年劣化しているワイヤーフックがある→20本購入
8	11月4日	営業・管理グループ2名・常置場スタッフ1名	展示ボックス用キャスターに破損しているものがある→2個購入
9	12月1日	営業・管理グループ2名・常置場スタッフ1名	〃
10	1月4日	営業・管理グループ2名・常置場スタッフ1名	音の出ないマイクロホンがある→1本購入
11	2月2日	営業・管理グループ2名・常置場スタッフ1名	いずれの備品も経年の汚れ、テープ跡が目立つ（使用に問題なし）
12	3月2日	営業・管理グループ2名・常置場スタッフ1名	〃

資料 4 防災研修記録

【札幌駅前通地区防災協議会研修・訓練への参加】

訓練 ① 防災訓練（図上訓練）

日 時 | 令和 7 年 10 月 14 日（火）13:15－15:30

会 場 | 札幌駅前通まちづくり株式会社 会議室

主 催 | 札幌駅前通地区防災協議会（弊社事務局）

目 的 | 帰宅困難者対応の手引きに則り、チ・カ・ホ防災センターと各ビル間の連絡調整や一時滞在施設開設（帰宅困難者の受け入れ）から閉鎖までの手順について想定される問題点を上げながら図上訓練を行った。

参加者 | 札幌市都心まちづくり推進室、道路維持課、都市交通課、事務局（札幌駅前通まちづくり株式会社）、石塚計画デザイン事務所（アドバイザー）

結 果 | 訓練結果をもとに今後の取組改善に繋げるため、マニュアルを見直した。

訓練② 防災情報伝達システム定期訓練への参加

日 時 | 毎月第 2 水曜日

場 所 | 札幌駅前通地下歩行空間防災センター及び接続ビル（合計 12 か所）

目 的 | 札幌駅前通地下歩行空間防災センターと接続ビルの防災センターを繋ぐ「防災情報伝達システム」の操作方法習熟と機器不具合を早期に発見、修理することを目的とする。

参加者 | 札幌駅前通地下歩行空間防災センター（警備、設備）・防災情報伝達システム子機を設置するビル・札幌駅前通まちづくり株式会社

結 果 | 定期的な訓練を継続実施していることで、不具合の早期対処（修理手配）にも繋がり、地域全体としての連絡機能を維持・回復することができた。

訓練③ 一時滞在施設開設訓練及び災害時帰宅困難者等の支援スペース設置訓練

日 時 | 2025 年 11 月 4 日 14:00～17:00（見学 16:00～16:30）

場 所 | 札幌駅前通地下歩行空間 北 2 条交差点広場（西）

内 容 ①一時滞在施設開設訓練

「札幌駅前通地区 帰宅困難者対策の手引き」に則り、一時滞在施設開設等の手順を検証する訓練を行った。（実施者：札幌市、事務局）

（ア）施設の安全確認／（イ）一時滞在施設の設営／（ウ）帰宅困難者受け入れ訓練

②災害時帰宅困難者等の支援スペース設置訓練

災害発生時における携帯電話充電機器及び無料 Wi-Fi 設備の設置訓練を行った。

(実施者：KDDI 株式会社 北海道総支社 *2019 年 9 月に KDDI(株)と事務局が協定締結)

参加者 37 名 (内、見学 19 人)

結 果 | 帰宅困難者対応の手引きに則り、チ・カ・ホ防災センターと各ビル間の連絡調整や一時滞在施設開設 (帰宅困難者の受け入れ) を手順通りに実施。現場での課題や気づきを得ることができた。

視察 地域防災の取組

日 時 | 令和 7 年 11 月 7 日 (金) 13:30~15:00

意見交換 | 博多まちづくり推進協議会/We Love 天神協議会

We Love 天神協議会事務局、博多まちづくり推進協議会事務局

福岡市 住宅都市みどり局都心創生部都心創生課都心プロジェクト調整係

市民局地域防災課連携推進係、市民局地域防災課連携推進係

①エリア防災の考え方・取り組みについて

- ・各協議会の取り組みについて
- ・一時滞在施設を活用した避難所開設・運営訓練および避難所体験会について
- ・外国人旅行者に対する災害時対応について

②天神ビッグバン・博多コネクティッドの事業の現状及び成果について

- ・容積率緩和のうち「災害に強い都市構造に寄与する施設整備」の内容について

現地視察 | (ONE FUKUOKA BLDG.・因幡町通り地下通路)

①施設の防火・防災管理 (組織) の体制や設備について

②地震・火災・水害・停電等対策について

結 果 | 札幌と福岡の担当者による議論では、外国語案内やボランティア確保、一時滞在施設の混雑情報のリアルタイム集約や迅速な連絡手段の構築が課題とされた。水防対策についてはビル単体ではなく合同での訓練が重要であることから、日頃から顔の見える関係づくりの大切さを再確認した。

【雪害による帰宅困難者の発生に伴うチ・カ・ホでの一時滞在施設の開設について】

日 時 | 令和 8 年 1 月 25 日 (日) 23:00~1 月 26 日 (月) 10:00

場 所 | 札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)

主 催 | 札幌市・札幌駅前通地区防災協議会事務局 計 11 名

状 況 | 前日からの降雪により札幌市に大雪警報発表 (過去最大 54cm を記録)

高速道路の通行止や JR・バスの運休で札幌圏の交通網がマヒ、JR 札幌駅に滞留者が発生したため、帰宅困難者対応の手引きに則り、一時滞在施設を運営した。接続ビルには情報伝達システムを使い情報共有した。

受入人数 | 346 名（うち外国人 67 名） ※受付人数ベース

配布物資 | 毛布：常備分 1,000 枚＋追加分 60 枚（札幌市備蓄）

カイロ：240 個（札幌駅前通地区防災協議会備蓄）

環境維持 | 帰宅困難者のスマートフォン充電などのために電源設備を開放

施設内温度を 24℃で運用（通常時は 18℃程度）

デジタルサイネージを活用し、JR の運行状況を放映

結 果 | 昨年 11 月に行った一時滞在施設開設訓練の経験から落ち着いて開設することができた。受付の混雑状況やその場の判断で、受付を 1 か所追加するなどスタッフ間で協力し合い、乗り切ることができた。

また、日常の貸出にあたっては、非常口・避難通路・消火栓・防火シャッター下降部分周辺、施錠部を塞がないようにし、設営資材の集積及び物品の保管等はしないよう、利用者に対して周知し、安全確保に努めた。

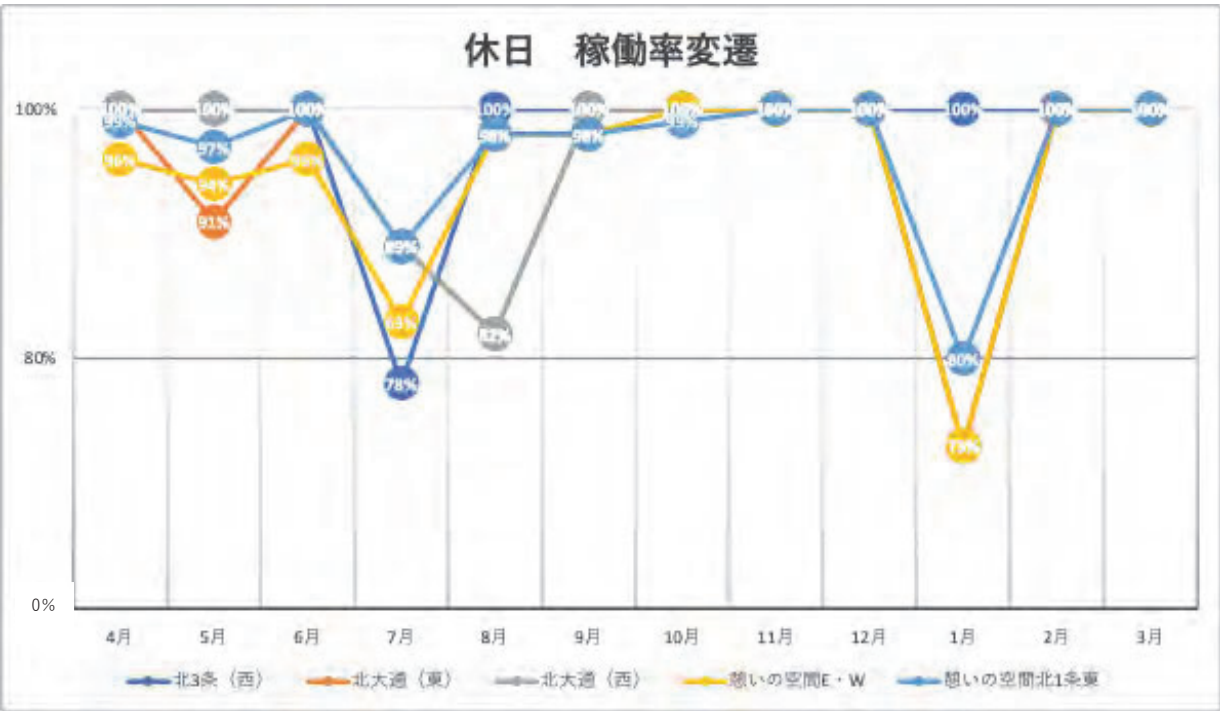
資料5 大型映像装置稼動割合

通勤枠（7:00-9:00、17:00-19:00）と一般枠（9:00-17:00、19:00-22:00）を設定。

[illegible][illegible]

資料6 地下広場 利用状況報告書

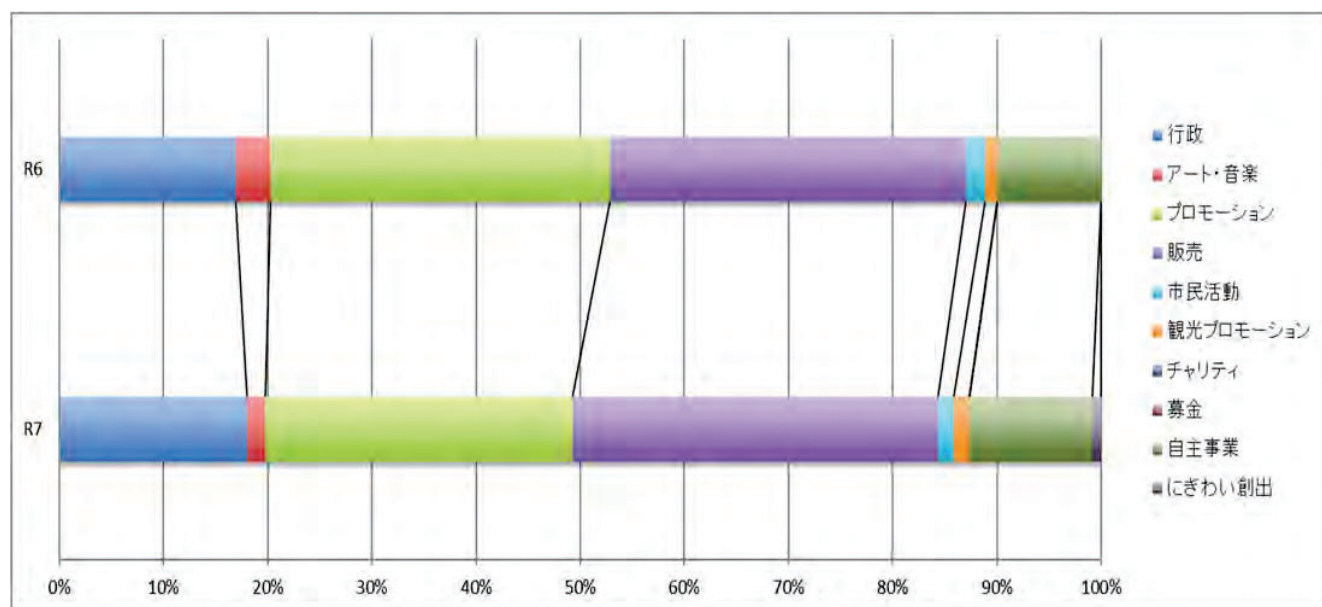
令和7年度は、主要貸出場所の年間稼働率は約88%となりました。(詳細稼働率については別表を参照)



●北 3 条交差点広場(西) 339 日稼働(平日稼働率 90%、休日 98%)

表 1:北 3 条交差点広場(西) 利用分類

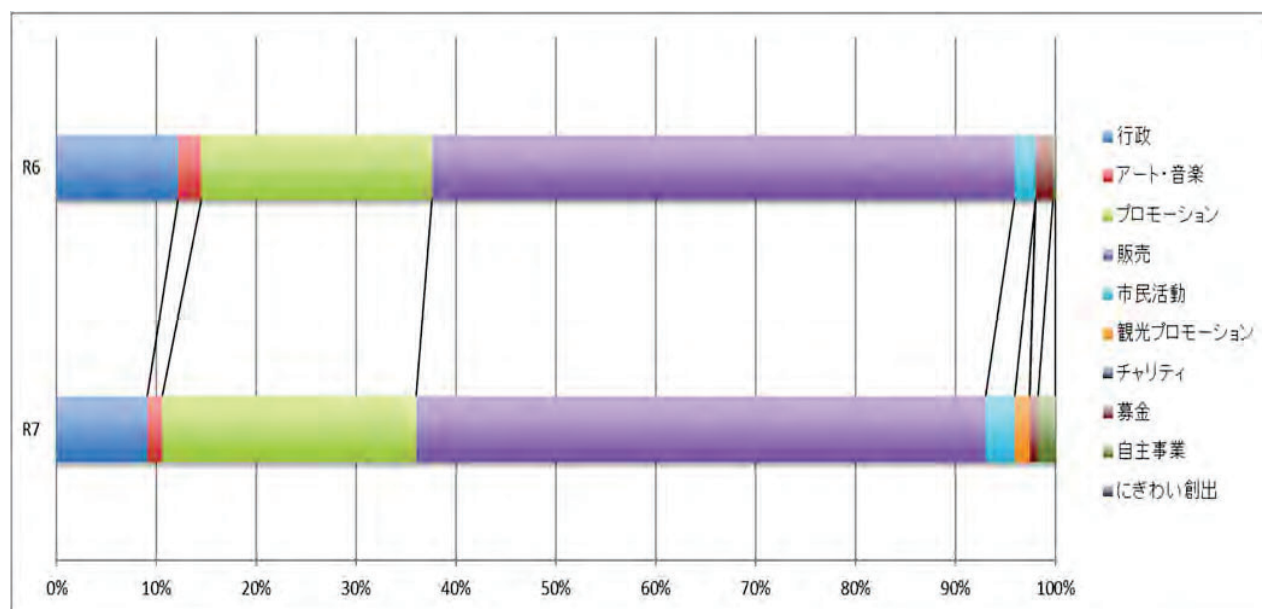
	R6	R7
行政	16.9%	18.0%
アート・音楽	3.3%	1.8%
プロモーション	32.7%	29.5%
販売	34.1%	35.1%
市民活動	1.8%	1.5%
観光プロモーション	1.2%	1.5%
チャリティ	0.0%	0.0%
募金	0.0%	0.0%
自主事業	10.0%	11.8%
にぎわい創出	0.0%	0.9%
	100%	100%



●北大通交差点広場(東) 342 日稼働(平日稼働率 93%、休日稼働率 94%)

表 2:北大通交差点広場(東) 利用分類

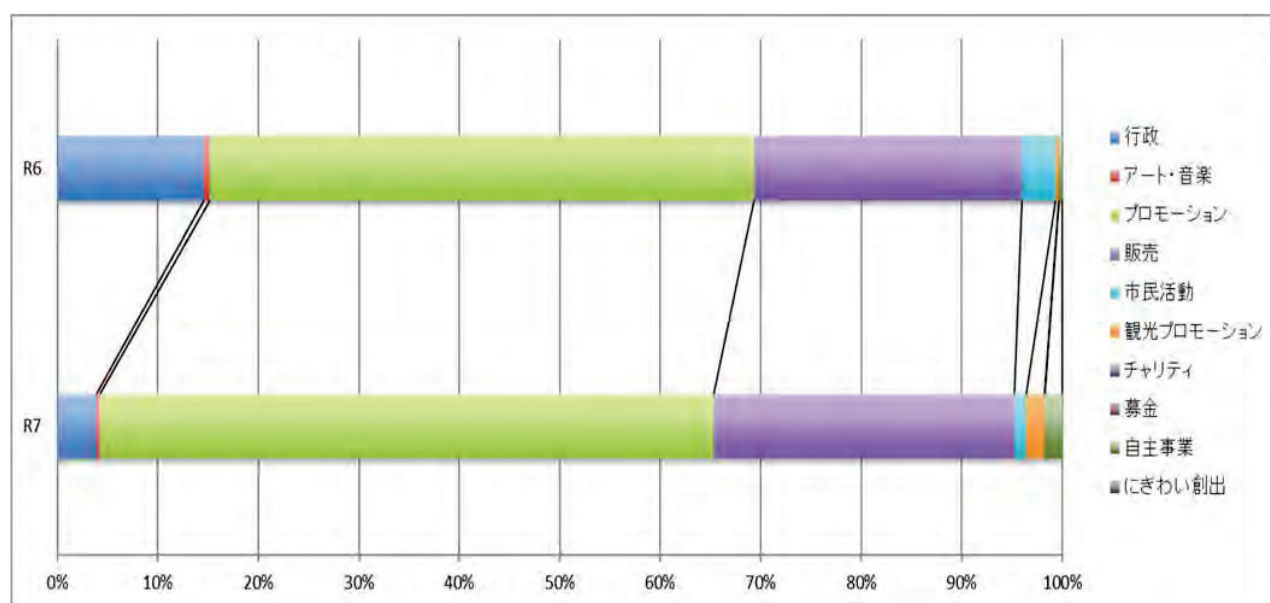
	R6	R7
行政	12.1%	9.1%
アート・音楽	2.3%	1.5%
プロモーション	23.1%	25.4%
販売	58.3%	57.0%
市民活動	2.1%	2.9%
観光プロモーション	0.0%	1.5%
チャリティ	0.0%	0.0%
募金	1.8%	0.9%
自主事業	0.3%	1.8%
にぎわい創出	0.0%	0.0%
	100%	100%



●北大通交差点広場(西) 337 日稼働(平日稼働率 91%、休日稼働率 95%)

表 3:北大通交差点広場(西) 利用分類

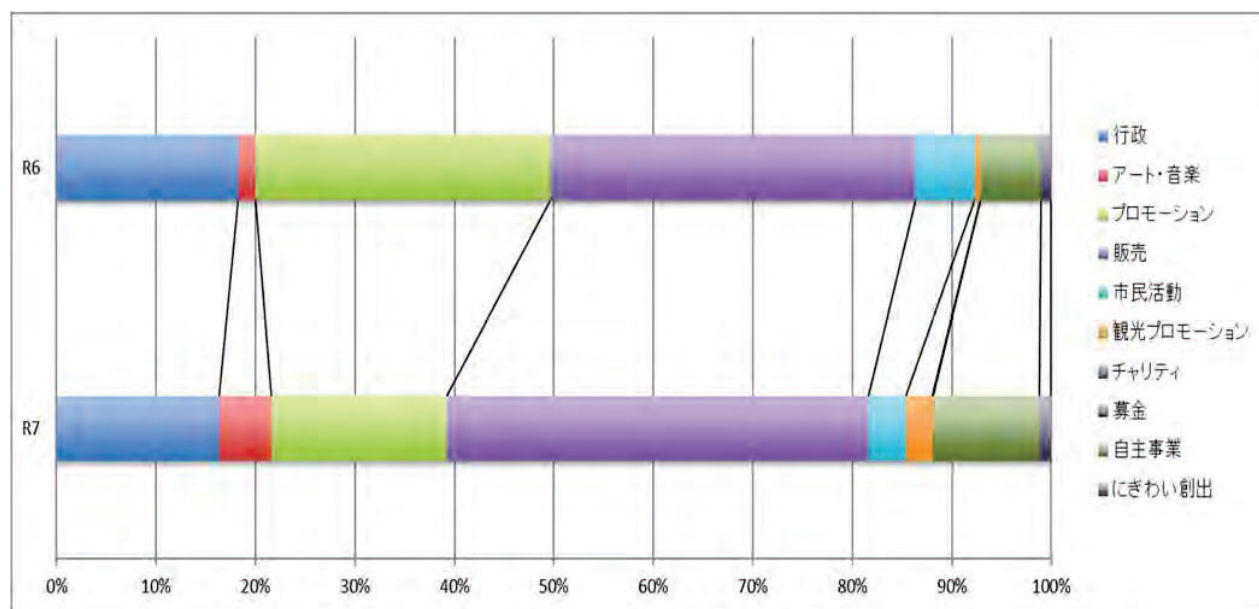
	R6	R7
行政	14.6%	3.9%
アート・音楽	0.6%	0.3%
プロモーション	54.2%	61.1%
販売	26.6%	30.0%
市民活動	3.4%	1.2%
観光プロモーション	0.3%	1.8%
チャリティ	0.0%	0.0%
募金	0.0%	0.0%
自主事業	0.3%	1.8%
にぎわい創出	0.0%	0.0%
	100%	100%



●憩いの空間 E/W 2,046 枠稼働(平日稼働率 93%、休日稼働率 95%)

表 4:憩いの空間 E/W 利用分類

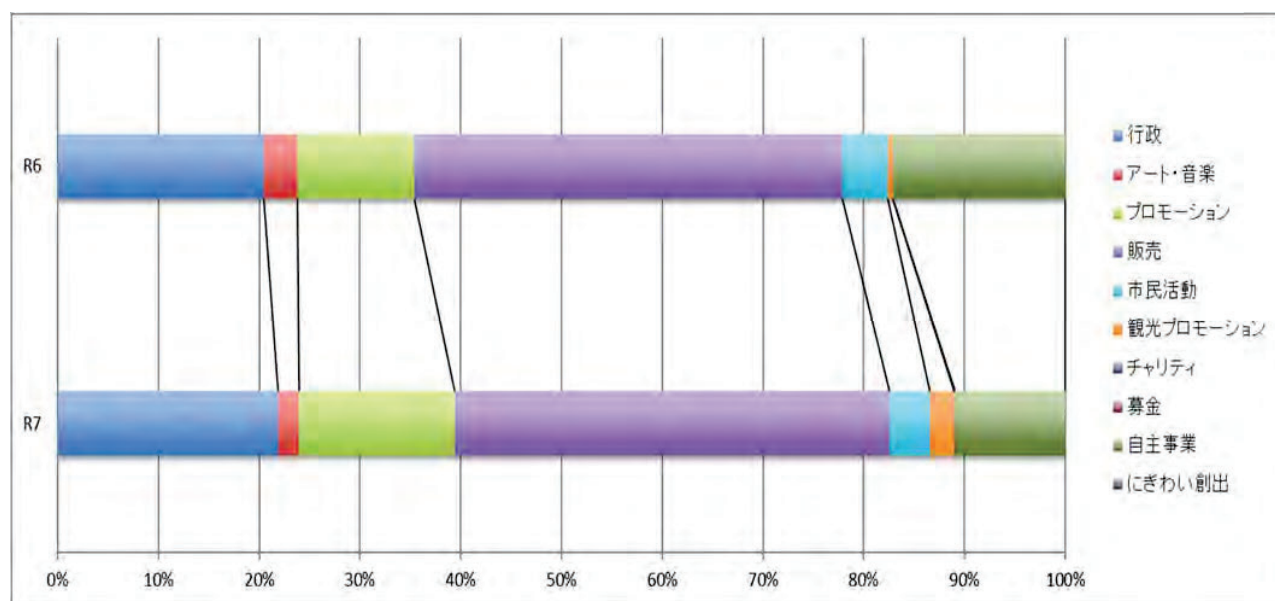
	R6	R7
行政	18.2%	16.3%
アート・音楽	1.8%	5.2%
プロモーション	29.6%	17.6%
販売	36.7%	42.4%
市民活動	5.9%	3.8%
観光プロモーション	0.6%	2.6%
チャリティ	0.0%	0.0%
募金	0.0%	0.0%
自主事業	6.2%	10.7%
にぎわい創出	1.0%	1.2%
	100%	100%



●憩いの空間 北1条東 3,105 稼働(平日稼働率 90%、休日稼働率 93%)

表 4:憩いの空間 北1条東 利用分類 ※R5 から一般貸出

	R6	R7
行政	20.5%	21.9%
アート・音楽	3.3%	2.0%
プロモーション	11.6%	15.5%
販売	42.6%	43.2%
市民活動	4.4%	4.0%
観光プロモーション	0.5%	2.4%
チャリティ	0.0%	0.0%
募金	0.0%	0.1%
自主事業	17.1%	10.9%
にぎわい創出	0.0%	0.0%
	100%	100%



札幌駅前通地下広場
(指定管理)

決 算 報 告 書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

札幌駅前通まちづくり 株式会社

札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1 番地

損益計算書

札幌駅前通まちづくり株式会社（札幌駅前通地下広場指定管理）

自 令和 7年 4月 1日

自 令和 8年 3月 31日

単位：円

科 目		金 額	
【 売 上 高 】	受 取 指 定 管 理 料	0	
	利 用 料 収 入	124,050,960	
	そ の 他 収 入	0	124,050,960
【 売 上 原 価 】			
	売 上 原 価	44,962,923	44,962,923
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】	売 上 総 利 益 金 額		79,088,037
			81,225,214
	営 業 利 益 金 額		-2,137,177
【 営 業 外 収 益 】			
	受 取 利 息	0	0
	雑 収 入	1,001,321	1,001,321
	経 常 利 益 金 額		-1,135,856
	税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		-1,135,856
	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		0
	当 期 純 利 益 金 額		-1,135,856

販売費及び一般管理費

札幌駅前通まちづくり株式会社（札幌駅前通地下広場指定管理）

自 令和 7年 4月 1日

自 令和 8年 3月 31日

単位：円

科 目		金 額	
役 員 報 酬		0	
給 与 手 当		30,871,185	
賞 与		14,798,330	
法 定 福 利 費		8,803,126	
福 利 厚 生 費		1,196,016	
外 注 費		666,783	
旅 費 交 通 費		1,057,168	
通 信 費		590,727	
減 価 償 却 費		362,902	
地 代 家 賃		8,578,036	
リ ー ス 料		414,125	
保 険 料		208,084	
水 道 光 熱 費		605,654	
消 耗 品 費		1,713,826	
租 税 公 課		7,509,323	
事 務 用 品 費		366,720	
広 告 宣 伝 費		1,799,755	
支 払 手 数 料		1,013,929	
諸 会 費		171,469	
新 聞 図 書 費		175,626	
印 刷 製 本 費		276,488	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額		12,375	
雑 費		33,567	
	合 計		81,225,214

売上原価報告書

札幌駅前通まちづくり株式会社（札幌駅前通地下広場指定管理）

自 令和 7年 4月 1日

自 令和 8年 3月 31日

単位：円

科 目		金 額	
【 労 務 費 】			
賃 金 給 料			25,000
【 外 注 費 】			
委 託 費			12,229,800
【 経 費 】			
旅 費 交 通 費		7,040	
寄 付 金		8,009,100	
減 価 償 却 費		858,000	
保 険 料		209,330	
修 繕 費		805,215	
消 耗 品 費		245,380	
租 税 公 課		37,100	
清 掃 点 検 費		15,364,800	
管 理 諸 費		4,213,440	
広 告 宣 伝 費		409,508	
支 払 手 数 料		2,549,210	
雑 費		0	32,708,123
	売 上 原 価		44,962,923

決算報告書

(第 16 期)

自 2025 (令和 7) 年 4 月 1 日
至 2026 (令和 8) 年 3 月 31 日

札幌駅前通まちづくり株式会社
札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1 番地

貸借対照表

札幌駅前通まちづくり株式会社

2026（令和8）年3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 249,505,312 】	【流 動 負 債】	【 64,112,366 】
現 金 及 び 預 金	235,330,654	未 払 金	17,984,930
貯 蔵 品	38,760	未 払 法 人 税 等	1,000
前 払 費 用	1,182,336	未 払 消 費 税 等	1,895,400
未 収 入 金	11,884,662	前 受 金	40,300,650
未 収 還 付 法 人 税 等	1,138,900	預 り 金	3,930,386
貸 倒 引 当 金	-70,000	負 債 合 計	64,112,366
【固 定 資 産】	【 46,445,931 】		
（有 形 固 定 資 産）	（ 5,431,128 ）		
建 物	1,352,886	純 資 産 の 部	
建 物 附 属 設 備	434,992	【株 主 資 本】	【 231,838,877 】
工 具 器 具 備 品	3,643,250	資 本 金	9,900,000
（無 形 固 定 資 産）	（ 5,493,063 ）	（利 益 剰 余 金）	（ 221,938,877 ）
ソ フ ト ウ エ ア	5,493,063	そ の 他 利 益 剰 余 金	221,938,877
（投 資 そ の 他 の 資 産）	（ 35,521,740 ）	繰 越 利 益 剰 余 金	221,938,877
投 資 有 価 証 券	30,000,000		
敷 金	5,478,600		
長 期 前 払 費 用	43,140	純 資 産 合 計	231,838,877
資 産 合 計	295,951,243	負 債 ・ 純 資 産 合 計	295,951,243

損益計算書

札幌駅前通まちづくり株式会社

自 2025（令和7）年4月1日

至 2026（令和8）年3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【 売 上 高 】		
受 取 指 定 管 理 料	12,335,448	
利 用 料 収 入	151,641,480	
壁 面 広 告 収 入	147,436,827	
そ の 他 収 入	13,049,280	324,463,035
【 売 上 原 価 】		
売 上 原 価	161,460,962	161,460,962
		売 上 総 利 益 金 額
		163,002,073
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		
		149,628,841
		営 業 利 益 金 額
		13,373,232
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	704,219	
受 取 配 当 金	57,874	
雑 収 入	4,082,421	4,844,514
		経 常 利 益 金 額
		18,217,746
		税 引 前 当 期 純 利 益 金 額
		18,217,746
		法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税
		5,613,445
		当 期 純 利 益 金 額
		12,604,301

販売費及び一般管理費

札幌駅前通まちづくり株式会社

自 2025（令和7）年4月1日

至 2026（令和8）年3月31日

単位：円

科 目	金 額
役 員 報 酬	17,500,000
給 与 手 当	49,888,795
賞 与	23,914,562
法 定 福 利 費	14,226,127
福 利 厚 生 費	1,932,802
外 注 費	1,077,544
旅 費 交 通 費	1,708,420
通 信 費	954,636
交 際 費	468,865
寄 付 金	215,000
会 議 費	182,460
減 価 償 却 費	586,463
地 代 家 賃	13,862,376
リ ー ス 料	669,240
保 険 料	336,273
水 道 光 熱 費	978,758
消 耗 品 費	2,769,599
租 税 公 課	12,135,300
事 務 用 品 費	592,633
広 告 宣 伝 費	2,908,462
支 払 手 数 料	1,638,543
諸 会 費	277,100
新 聞 図 書 費	283,820
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	20,000
印 刷 製 本 費	446,815
雑 費	54,248
合 計	149,628,841

売上原価報告書

札幌駅前通まちづくり株式会社

自 2025（令和7）年4月1日

至 2026（令和8）年3月31日

単位：円

科 目		金 額	
【 労 務 費 】			
賃 金 給 料			240,041
【 外 注 費 】			
委 託 費			51,040,467
【 経 費 】			
旅 費 交 通 費		3,014,631	
通 信 費		236,323	
交 際 費		1,162,320	
寄 付 金		8,009,100	
会 議 費		228,076	
減 価 償 却 費		2,293,786	
地 代 家 賃		1,004,016	
保 険 料		392,918	
修 繕 費		1,689,615	
水 道 光 熱 費		1,149,064	
消 耗 品 費		3,076,314	
租 税 公 課		77,120	
清 掃 点 検 費		20,420,400	
管 理 諸 費		4,559,940	
広 告 宣 伝 費		3,346,729	
支 払 手 数 料		42,633,282	
印 刷 製 本 費		325,300	
諸 会 費		330,000	
支 払 負 担 金		16,135,000	
雑 費		96,520	110,180,454
	売 上 原 価		161,460,962

資料9 自主事業の実施状況

●利用者の利便性向上事業

(1) 備品貸出事業

地下歩行空間内は通路であり安全上、夜間に物を設置した状態にすることはできないことから、複数日にまたがる利用者の利便性を向上することを目的として、弊社が貸し出す台車に収まるサイズ内で、利用者の持ち込み品を預かるサービスを行いました。お客様からの要望の多いステージ、什器、リノリウム等の貸出も行いました。

年間利用料金収入：6,132,700 円（2024 年度売上 5,586,100 円）

(2) 札幌駅前通地下広場におけるビッグイシューと連携した案内ブースの設置事業

日頃より歩行者から、地下広場でイベントや出店情報などを手軽に入手できる場所の設置要望があがっていました。この要望に応え、歩行者の利便性の向上を図るため、地下広場の案内ブースを設置しました。案内ブースの設置にあたっては、ビッグイシュー事務局と連携し、地下広場のイベント情報や地下歩行空間の道案内などの問合せに対応しました。

設置期間：通年

設置場所：北3条交差点広場（東）

案内体制：1人体制

イベント案内	道案内	観光案内	その他
169	659	131	158

●にぎわい創出・育成事業

(3) チ・カ・ホ LIVE

チ・カ・ホの利用者からも好評を得ているライブを札幌市内で活動している団体と協力して実施いたしました。通常のコンサートでは味わえない演者との距離感や客席の配置、演者のトークやレクチャーなど、チ・カ・ホで行う無料コンサートならではの楽しみ方を通じて、新たなファン層の拡大を図りました。

- ・Sapporo Sound Square（年6回）
- ・パークジャズライブ（年1回） 共催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会

(4) kuraché（クラシェ）

北海道を中心としたこだわりのある「つくり手」を募り、単に商品を販売するだけではなく、モノづくりに込めた思いやこだわり・スタイルをお客様にお伝えし、「北海道の暮らしに新たなシーンを提案する」場として kuraché を開催しました。

毎回、テーマに沿った商品構成で展開し、ディスプレイ方法にも配慮しています。全体として統一感のある設えで視覚的にも魅力ある空間づくりを行い、都心部の賑わいの創出につなげています。

実施期間：7月、9月、10月、12月、2月 延べ30日間

実施場所：北1条イベントスペース（東）

出店料：4,285,020円

(5) 北海道“みりよく”発信プロジェクト

札幌駅前通地下歩行空間の国道部分を管理する北海道開発局札幌開発建設部との協働で北海道の各地で行われている、旬の魅力あふれる取組を紹介しました。

実施期間：通年

(6) 北海道インフォメーションボード

地下広場の活用コンセプトの一つである「さっぽろ・北海道の魅力発信」を目的とし、北海道インフォメーションボードを設置しました。対象は、北海道内の市町村が主催、後援している広く一般の方が参加可能なイベントで、市町村が用意するチラシを掲示できるボードとしました。

実施日：通年

利用料：244,750円（2024年度売上282,700円）

(7) 地方自治体応援企画「CHIKAHO LOCAL CENTER」

地方自治体が遠方からでも出展がしやすいように、場所代と備品代をセットにした特別プランを期間限定で設定しました。また不慣れな札幌での出展をバックアップする協力体制をととのえ、イベントをしやすく、効率的なPRが行えるようになることで、北海道の活性化、さらには本州との架け橋にもなることを目指しました。

実施日：2025年8月19日

実施団体：後志地区 農協青年部協議会

●地下広場活用事業

(8) まちなかサロン事業（憩いの空間・接続空間）

地下歩行空間は520メートルという長い空間であることから、椅子・テーブルを設置し行き交う人々が休み・憩うことが可能な空間（まちなかサロン）を創出しました。また接続空間（日本生命札幌ビル、札幌三井JPビルディング、敷島ビル、札幌大通西4ビル、札幌フコク生命越山ビル、大同生命札幌ビル、ヒューリックスクエア札幌）に椅子・テーブルを設置することで、人々が滞留し、憩い交流できる空間を創出しました。

実施期間：通年

(9) 市民活動促進のためのパンフレットコーナー設置事業

日頃まちづくり活動に馴染みのない人たちの活動への理解、参加、寄付等の協力の促進を目的に、当施設内に情報コーナーを設置しました。

運営については、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会と協定を結び、事業を実施し、パンフレットラックやパネルの設置によるまちづくり活動団体の PR パンフレットやポスターを最大 72 件配架、掲示しました。

実施期間：通年

(10) チャリティーイベント等支援事業

被災地の復興支援、法律で定められた募金活動について、関係団体と協力して実施しました。

実施期間：通年

(11) 研修・修学旅行生の受け入れ事業

札幌に宿泊研修や修学旅行で訪れる学生たちの活動の一環として行われる各地域の広報活動（観光 PR 等）に対して場所の提供を行いました。

利用数：7 校

(12) 『Sapporo City Wi-Fi』運用事業

広場利用者及び通行者の利便性向上のため、当施設においても札幌市で実施している「Sapporo City Wi-Fi」（以下、当 Wi-Fi）を導入し運営しました。

実施期間：通年

利用可能場所：各交差点広場付近

利用料金：無料

年間利用者数：113,139 （月平均： 9,428 アクセス）

(13) 総合案内板設置事業

札幌市経済観光局所有のデジタルサイネージによる広告付きの観光案内板（総合案内板）を地下歩行空間内にも設置することで、タイムリーな観光情報の発信を行います。また非常用電源を備え、災害時には街中で滞留している観光客にも情報提供を行いました。

実施期間：通年

利用可能場所：北 1 条イベントスペース（西）

利用料金：無料

(14) 札幌駅前通地下歩行空間における献血者呼び掛け計画

多数の通行者がいる地下歩行空間において、呼び掛けを行うことにより、北海道における輸血用血液製剤の安定確保に迅速かつ大きな効果が期待できるため、献血ルームへの誘導告知を行いました。

実施期間：通年

主催：北海道赤十字血液センター大通献血ルーム・札幌駅前通まちづくり株式会社

(15) ヒューリックスクエア札幌 工事中仮囲い活用

2025年8月の2期工事完了までの間、地下接続部には工事中仮囲いが設置されていましたが、オープンしている1期接続部分の出入口がわかりづらく、地下広場の設置目的に照らしても好ましくないことから、通行者の利便性向上や地下広場の景観維持向上、にぎわい創出のため、接続空間の休憩スペースの一部にシステムパネルを設置し、施設案内等を掲出しました。

実施期間：2025年4月1日～8月31日

場所：札幌駅前通地下広場 接続空間（ヒューリックスクエア札幌前）

内容：システムパネルを設置し、施設案内等を掲出。

運営：ヒューリック株式会社、札幌駅前通まちづくり株式会社

(16) 緑化コンテナ設置事業

積雪寒冷地及び日照の確保が難しい屋内空間でも実施可能な取組である室内緑化の普及啓発、及び室内緑化による心地よい滞在・滞留空間の創出を図るため、通行者が多い札幌駅前通地下歩行空間において、フェイクグリーンを活用した緑化コンテナの設置管理等を行いました。

実施期間：通年

場所：憩いの空間・接続空間

内容：フェイクグリーンを活用した緑化コンテナの設置

協力：札幌市建設局みどりの推進部みどりの管理課

(17) 春一番ゆうべつチューリップ便り！オープニングセレモニー

アカプラで2015年より湧別町からチューリップをご提供いただき毎年4月下旬からチューリップを展示する「春一番、ゆうべつチューリップ便り」を開催しています。そのオープニングセレモニーをチ・カ・ホの北3条交差点広場（西）で開催しました。

日時：2025年4月25日（金）12:30～13:00

場所：北3条交差点広場（西）

内容：湧別町長からのご挨拶、チューリップポットの受け渡し式、チューリップポットとチューリップノベルティグッズの配布、かみゆうべつチューリップ公園のPR

運営：湧別町、札幌駅前通まちづくり株式会社

(18) さっぽろ八月祭 2025 関連事業

2015 年度より開催されている「さっぽろ八月祭」(以下、「八月祭」)は、札幌駅前通地区のビジネスパーソンをはじめ、来街者の方々が夏のひとときを快適に過ごすことを目的に開催しており、こうしたイベントを通して、札幌駅前通地区の地域価値向上を目指しています。

祭の象徴である大風呂敷やのぼり旗はチ・カ・ホでのサポーターによる修復作業を通じ、八月祭の更なる魅力発信と都心部の賑わい創出につなげました。

期間：2025 年 4 月 19 日（土）～7 月 26 日（土）

場所：北 3 条交差点広場（東）・（西）

内容：大風呂敷の修復、のぼり旗の制作、会場の装飾、パンフレットラック設置他

(19) SAPPORO Flower Carpet 2025

札幌市北 3 条広場（アカプラ）のオープニング記念として 2014 年に 1 回目が開催され今年で 11 回目のイベントです。チ・カ・ホには過去のカーペットの写真ギャラリーや、道内の花観光を紹介するパンフレットコーナーの設置、協賛企業ブースを設けました。今年度はチ・カ・ホを含む 5 会場での展示を実施し、多くの方に訪れていただきました。事業を通じて都心部の活性化につなげていきたいと考えています。

日時：2025 年 6 月 27 日（金）～6 月 29 日（日）（準備は 6 月 26 日から）

場所：札幌市北 3 条広場（アカプラ）、札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）、

赤れんが テラス、JR タワー1 階 東コンコース アーバンネット札幌ビル

主催：サッポロフラワーカーペット実行委員会、札幌駅前通地区活性化委員会

（事務局：札幌駅前通まちづくり株式会社）

(20) 大通ビッセ 15 周年記念バナー設置

地下歩行空間開通当時から接続ビルとしてチ・カ・ホに賑わいを創出してきた大通ビッセは 2025 年 9 月 23 日で 15 周年を迎えました。そこで記念すべき周年事業に多くの市民や観光客が足を運ぶよう、隣接する商業施設との連携で地域一帯を盛り上げました。

実施期間：2025 年 9 月 22 日（月）～11 月 30 日（日）

場 所：札幌駅前通地下広場 大通ビッセ 接続空間（アイズ横）

主 催：札幌駅前通まちづくり株式会社・交洋不動産株式会社

(21) SAPPORO PERFORMANCE PARTY 2025

2018 年に初開催された SAPPORO PERFORMANCE PARTY（SPP）は、北の大都市・札幌の玄関口である札幌駅前エリアで複数の会場が一体となってにぎわいを生み出すパフォーマンスフェスティバルです。今回も昨年に引き続き複数会場（2 ヲ所）で開催しました。全国で活躍する道内外のパフォーマー 6 組 10 名に出演していただき、札幌駅前通が特別なにぎわいを見せた 2 日間

となりました。

主 催：札幌駅前通まちづくり(株)

共 催：札幌駅前通地区活性化委員会

日 時：2025 年 9 月 27 日（土）～28 日（日）

会 場①：札幌駅前通地下歩行空間 北 3 条交差点広場（西）

会 場②：札幌駅南口駅前広場

出 演：道内外のパフォーマー6 組

(22) 人体改造カブ株式会社「エリアヘルスコラボ」

「エリアヘルスコラボ」は、札幌駅前通地下歩行空間を拠点とし、健康づくりに取り組む企業同士が“コラボ”して、札幌駅前通地区で働くワーカーや来街者と一緒にこの地区全体の「エリアヘルス」を考えるラボという趣旨のもと開催しました。1 回目は 10 月 10 日「目の愛護デー」にちなんで「目」にまつわる展示や体験を展開し、2 回目は「自律神経」をメインテーマに、食・睡眠・運動・こころの健康にまつわる、展示や体験ができる “ラボ” が集まりました。

実施期間・場所：

①2025 年 10 月 9 日（木）～10 日（金）/憩いの空間 W

②2026 年 3 月 5 日（木）北 3 条交差点広場（西）/ 6 日（金）～7 日（土）憩いの空間 W

主催：エリアヘルスプロジェクト「人体改造カブ株式会社」

共催：札幌市ウェルネス推進課

(23) Public Art Research Center 12 [PARC 12]

PARC12 は、チ・カ・ホを舞台に「サステナブルなオルタナティブ」をテーマに開催したアートイベントです。本イベントでは、地方における資金難や理解者不足、ライフステージの変化といったアート活動継続の課題に着目し、アーティストの生き方や問題意識を可視化した作品展示のほか、持続的な活動に向けた講演及びディスカッションも実施されました。

会期：2025 年 10 月 18 日（土）～10 月 26 日（日） 11:00～19:00

会場：札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ） | 憩いの空間 W

出展作家：碓井ゆい、周活/ Shukatsu、村上慧

主催：札幌駅前通まちづくり株式会社 共同企画 | 一般社団法人 PROJECTA

来場者：4,740 名

(24) チ・カ・ホのお正月

「チ・カ・ホのお正月」は年末年始のチ・カ・ホを華やかに彩り、歩行者に正月の雰囲気を楽しんでいただく取り組みとして実施している企画です。

札幌南高等学校書道部の揮毫パフォーマンスでは、丙午は「火」と「午」の組み合わせで強

いエネルギーを持つ年とされる「邁進」をテーマに、情熱をもって突き進み、いろいろな花を咲かせるような素晴らしい年にしようという願いを込めた作品になりました。

風間天心氏のアート性の高い門松は、力強く前へ進む姿から「飛躍」「出世」「運氣上昇」の象徴とされ、勝負運や厄除けの縁起物としても親しまれている「跳ね馬」と「まう(舞う)」として福を招く象徴であり、千客万来や商売繁盛につながるといわれている「左馬」をモチーフにした作品を展示しました。記念撮影や熱心に鑑賞する姿が見られたほか、新聞等メディアにも取り上げられました。

実施期間：2025 年 12 月 26 日（金）～2026 年 1 月 4 日（日）

場所：北 3 条交差点広場（西）

主催：札幌駅前通まちづくり株式会社

協力：北海道札幌南高等学校書道部（書道）、風間天心（水引飾り）

(25) サッポロ・パラレル・ミュージアム 2026

サッポロ・パラレル・ミュージアムは、札幌駅前通のさまざまな商業ビルや地下歩行空間に作品を展示して、日常と違う視点でまちを巡ることのできる展覧会で、5 回目の開催となりました。札幌駅前通の 7 会場およびオンラインでの作品展示のほか、札幌で活動する作家のグッズなどが購入できるミュージアムショップやスタンプラリー等のインフォメーションブースをチ・カ・ホ会場に設置しました。本展覧会では、メイン会場としてチ・カ・ホを活用し、展示のほか、北 2 条交差点広場ではユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）メディアアーツ都市間連携の紹介コーナーを設けました。

実施期間：2026 年 1 月 31 日（土）～2 月 8 日（日）

利用可能場所：憩いの空間 E・W、北 2 条交差点広場（東・西）

主催：札幌駅前通地区活性化委員会（事務局：札幌駅前通まちづくり株式会社）

(26) THE VILLAGE SAPPORO 工事用仮囲い活用

札幌駅と大通駅という 2 つのエリアをつなぐ地下通路「チ・カ・ホ」は、利便性に優れているだけでなく、イベントや展示の開催、プロモーションや情報発信、交流の場としても機能しています。地下歩行空間に接続する「THE VILLAGE SAPPORO」は、2026 年 4 月に竣工を予定しており、オフィスビル工事完了までの間、憩いの空間には工事用仮囲いが設置しました。この仮囲いを活用し、まちづくりとアートの未来をつくる「札幌駅前通アワード」の受賞作品の発表の場として活用しました。

実施期間：2025 年 8 月 1 日（金）～2026 年 3 月 31 日（火）

場 所：札幌駅前通地下広場 憩いの空間（THE VILLAGE SAPPORO 前）

内 容：壁面にサインを設置

運 営：いちご株式会社、札幌駅前通まちづくり株式会社

札幌駅前通地下広場
(自主事業)

決 算 報 告 書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

札幌駅前通まちづくり株式会社
札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1 番地

損益計算書

札幌駅前通まちづくり株式会社（札幌駅前通地下広場 自主事業）

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

単位：円

科 目		金 額	
【 売 上 高 】			
		6,132,700	
利 用 料 収 入			
そ の 他 収 入		5,097,170	11,229,870
【 売 上 原 価 】			
売 上 原 価		9,694,457	9,694,457
	売 上 総 利 益 金 額		1,535,413
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】			8,033,288
	営 業 利 益 金 額		-6,497,875
【 営 業 外 費 用 】			
雑 損 失			0
	経 常 利 益 金 額		-6,497,875
【 特 別 圧 縮 】			
固 定 資 産 除 却 損			0
	税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		-6,497,875
	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		0
	当 期 純 利 益 金 額		-6,497,875

販売費及び一般管理費

札幌駅前通まちづくり株式会社（札幌駅前通地下広場 自主事業）

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

単位：円

科 目		金 額	
給 与 手 当		3,053,195	
賞 与		1,463,572	
法 定 福 利 費		870,640	
福 利 厚 生 費		118,289	
外 注 費		65,946	
旅 費 交 通 費		104,557	
通 信 費		58,425	
減 価 償 却 費		35,892	
地 代 家 賃		848,379	
リ ー ス 料		40,958	
保 険 料		20,581	
修 繕 費		-	
水 道 光 熱 費		59,901	
消 耗 品 費		169,501	
租 税 公 課		742,681	
事 務 用 品 費		36,270	
広 告 宣 伝 費		177,999	
支 払 手 数 料		100,280	
諸 会 費		16,959	
新 聞 図 書 費		17,371	
印 刷 製 本 費		27,346	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額		1,225	
雑 費		3,321	
	合 計		8,033,288

売上原価報告書

札幌駅前通まちづくり株式会社（札幌駅前通地下広場 自主事業）

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

単位：円

科 目		金 額	
【 外 注 費 】			
委 託 費			7,180,096
【 経 費 】			
旅 費 交 通 費		9,170	
通 信 費		85,466	
交 際 費		107,670	
寄 付 金		-	
会 議 費		23,409	
減 価 償 却 費		1,012,594	
保 険 料		35,680	
修 繕 費		412,500	
水 道 光 熱 費		-	
消 耗 品 費		138,065	
租 税 公 課		2,800	
運 賃		-	
清 掃 点 検 費		145,200	
管 理 諸 費		-	
広 告 宣 伝 費		370,260	
支 払 手 数 料		95,627	
印 刷 製 本 費		-	
支 払 負 担 金		-	
雑 費		75,920	2,514,361
	売 上 原 価		9,694,457

資料 11 環境配慮への取組結果

札幌駅前通地下広場管理業務仕様書第 4-1-(3) の「環境配慮の推進」の取組結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 日常業務における OA 機器の省エネモード設定及び不使用時の電源断を徹底した。
2. 業務の IT 化を図ることで、業務時間の短縮による省エネルギー及びペーパーレスによる省資源化を図った。
3. ごみ減量のため、ミスコピー紙の裏面活用を徹底した。
4. 備品については、グリーン購入ガイドライン指定品を購入するよう心がけた。
5. 清掃業務において、毒素を含まない洗剤を使用するなど、各業務遂行にあたり必要となる備品・消耗品等については、環境に配慮した製品を採用するよう心がけた。
6. 広場の利用者にはゴミの持ち帰りをお願いした。
7. 札幌駅前通まちづくり株式会社研修計画書に基づき、環境配慮に向けた研修を実施した。

引き続き、環境配慮については、職員は常に心がけることとし、利用者に対する協力依頼を続けていきたい。

以上